

PHILIPS

クロックラジオ

7000 シリーズ

R7606



取扱説明書

www.philips.com/supportで製品を登録し、サポートを受けてください

コンテンツ

1	安全上のご注意	2
	安全性	2
	免責	3

2	あなたのクロックラジオ	4
	はじめに	4
	付属品	4
	クロックラジオの各部の名称	4

3	本体の準備	5
	電池を入れる	5
	コンセントにつなげる	5
	時間を設定する	5
	電源を入れる	5

4	FMラジオを聴く	6
	FMラジオ局の周波数を合わせる	6
	自動でFMラジオ局を設定する	6
	手動でFMラジオ局を設定する	6
	設定したラジオ局を受信する	6

5	Bluetooth	7
	Bluetooth対応機器から再生する	7

6	その他の特徴	7
	アラームタイムを設定する	7
	スリープタイマーを設定する	8
	音量調節	8
	ディスプレイの明るさを調整する	8
	スマートフォンをワイヤレス充電する	8
	USBポートから充電する	8

7	仕様	9
---	----	---

8	故障かな?と想ったら	10
---	------------	----

1 安全上のご注意

安全性

本製品をご使用になる前に、本紙をすべて読み、正しくお使いください。本説明に従わずに損害が生じた場合、保証は適用されません。

感電または火災、ショートのリスクがあります！

- * **電圧が異なる場合は、絶対に本製品をコンセントに接続しない。**
 - ・本製品をコンセントに接続する前に、電源電圧が本製品の背面または底面に印刷されている数値と適合することをご確認ください。
- * **分解や改造をしない。**
 - ・火災、感電、けが、または故障の原因になります。
- * **本機を過度の熱に当てない。**
- * **本機を落下させたり、強い衝撃を与えない。**
- * **本製品をぬらさない、ぬれた手で触れない。**
 - ・感電やけがの原因になります。
- * **本機を布団や布などで覆わない。**
 - ・発熱や発火の原因になります。
- * **本製品の通気口、開口部などに水や異物を入れない。**
 - ・水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
- * **アルコール、アンモニア、ベンジン、または研磨剤を含むいかなる洗浄剤も使用しないでください。**
 - ・製品のお手入れには、マイクロファイバーの布をご使用ください。
- * **本機を医療機器の近くで使用しない。**
 - ・機器が発する電波により心臓ペースメーカーや除細動器などの医療機器に影響を与えるおそれがあります。
- * **高精度な制御や微弱な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。**
- * **幼児やペットが触れる場所に置かない。**
- * **メーカー純正品または推奨品ではない電源アダプターや充電器を使用しない。**
 - ・火災や怪我などの原因となるおそれがあります。
- * **破損した状態で使用したり、改造したりしない。**
 - ・破損した状態のバッテリーや改造したバッテリーを使用すると、火災や破裂の原因となり、怪我をするおそれがあります。
 - ・修理が必要な際は、必ず当社カスタマーサービスにお問い合わせください。
- * **リモコンの電池の液が漏れたり、異臭がする時には、直ちに火気より遠ざける。**
- * **異常（音、煙、臭いや発熱、損傷など）に気づいたら使用しない。**
 - ・異常に気づいたら、すぐに使用を中止し、当社カスタマーサービスに修理を依頼してください。
- * **一般ごみ（不燃ごみ）と一緒に廃棄しない。**

- * **電源電圧は100Vで使用する。**
- * **以下の場所で使用、放置、保管しない。**
 - ・直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、また、極端に温度が低いところ。
 - ・ストーブなどの熱源の近く。
 - ・車内。

オーバーヒートの恐れがあります

- * **本製品を狭い空間に設置しないでください。**
 - ・通期のために、周囲に10cm以上のスペースを確保してください。
 - ・カーテンやオーディオラック、その他の物体が本製品の通気口をふさぐことのないよう、ご確認ください。

本製品や家財道具に損害を与えたり、お客様が怪我をするリスクがあります

- * **壁に設置する場合、設置の注意事項に従ってください。落下による怪我、事故、製品および家財道具の破損につながる場合があります。**
 - * **壁に設置する場合は、専門の業者様へご相談ください。**
 - ・金具は、付属品以外使用しないでください。
 - ・壁の強度、構造、素材などにより、付属品では強度が十分に保てない場合があります。
 - ・壁の強度、構造、素材などにより、付属のねじでは対応できない場合があります。専門の業者様にご相談の上、ご設置ください。
 - ・電源コードを金具や壁等に挟まないようにしてください。
 - ・落下の危険がないか、定期的に安全確認を行ってください。
 - * **本体の上に物を載せたり、ぶら下げたりしないでください。**
 - * **リモコンに電池を使用する場合、取り扱いにご注意ください。**
 - ・子供やペットが触れる場所に保管しないでください。飲み込むと死亡のリスクがあります。
 - ・電池の種類や新旧をまぜて使用しないでください。同一タイプの電池をご使用ください。
 - ・誤った方法で電池を取り外すと、爆発の危険があります。
 - ・電池を使い切った場合や、リモコンを長期間使用しない場合は、電池を取り外してください。
 - ・電池を廃棄する場合は、お住まいの地域のルールに従って廃棄してください。
- 健康被害が発生する危険があります。**
- * **電池の液が目に入ったときは目をこすらない。**
 - ・目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因となるので、すぐにきれいな水で十分に洗い流し、皮膚に違和感がある場合は、医師の診察を受けてください。

- * 電池の液が漏れたときは素手で液を触らない。
- * 誤って電池を飲み込んだ場合は、直ちに治療を受けてください。
- * 電池を取り換えた後は、電池の蓋が完全に固定されていることをご確認ください。
 - ・電池の蓋が完全に固定できない場合は使用を中止し、子供やペットが触れない場所に置き、カスタマーサービスへご連絡ください。
- * 火気に近づけたり、火の中に入れてはいけません。
- * 本機を落下させたり、強い衝撃を与えない。
- * 水にぬらさない。



取扱説明書に記載された電源以外は使用しないでください。

電波について

2.4 FH 1

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。
3. その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

免責

お客様が購入された製品について、弊社に重大な過失がある場合を除き、損害賠償責任は購入金額を限度額と致します。弊社における保証は本製品の機能に関する保証のみに限ります。

保証規定：保証期間中に正常なご使用状況のもとで故障した場合は、本記載内容に基づき無償修理いたします。万一故障した場合は、カスタマーサービスまでお知らせください。なお、次のような場合は、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

1. レシートや納品書など、購入年月日、販売店、購入製品が記載された書類の提示がない場合
2. 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷
3. 火災、地震、風水害、雷、その他の天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害や異常電圧、指定外使用電源（電圧周波数）による故障および損傷
4. 不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合
5. 一般家庭用以外（例えば業務用）での使用による故障および破損
6. 消耗部品の自然な消耗・劣化による故障
7. お買い上げ後の輸送、移動、落下および砂がぶり、水かぶりなどによる故障および損傷
8. 製品および付属品の紛失
9. その他弊社の判断に基づき、無償保証が認められない場合

本書は、日本国内においてのみ有効です。
（本保証は日本国内においてのみ有効です）



Bluetooth® のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. の登録商標であり、MMD Hong Kong Holding Limited はライセンス契約に基づいてかかるマークを使用しています。その他の商標および商標名は各所有者に帰属します。

2 あなたのクロックラジオ

この度はご購入頂きありがとうございます。フィリップスへようこそ！フィリップスが提供するサポートをすべてご利用いただくには、お客様の製品を www.philips.com/support からご登録いただく必要があります。

はじめに

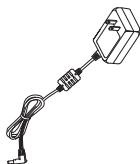
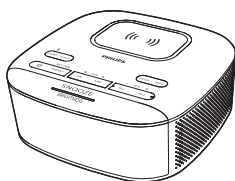
クロックラジオのできること

- ・ FMラジオを聴く；
- ・ Bluetooth対応機器を使って音楽を聴く；
- ・ 2つのアラームを別々の時間に設定する；
- ・ ワイヤレス充電器またはUSBでモバイル機器を充電する。



付属品

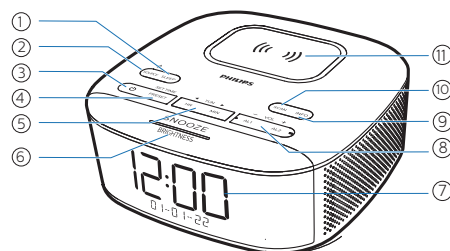
商品をご確認ください。

- ・ 本体
- ・ 電源アダプタ
- ・ クイックスタートガイドおよび安全性情報
- ・ 保証



クロックラジオの各部の名称

- ① **SLEEP**
 - ・ スリープタイマーを設定します。
- ② **SOURCE** 
 - ・ FMモードまたはBluetoothモードを選択します。
 - ・ Bluetoothモードで2秒以上長押しすると、ペアリングモードに入ります。
- ③ 
 - ・ 本体の電源を入れる時や、スタンバイモードに切り替える時に使用します。
- ④ **PRESET / SET TIME**
 - ・ ラジオ局を設定する時に使用します。
 - ・ 設定したFMラジオ局を受信します。
 - ・ 時間を設定します。
- ⑤ **HR / MIN / ◀TUN▶**
 - ・ 時刻を設定します。
 - ・ FMラジオ局の周波数を合わせる時に使用します。
 - ・ 前後の曲にスキップします。
- ⑥ **SNOOZE / BRIGHTNESS**
 - ・ アラームを繰り返す時に使用します。
 - ・ ディスプレイの明るさを切り替えられます。
- ⑦ **表示パネル**
 - ・ 本体の状態を表示します。
- ⑧ **AL1 / AL2 / -VOL+**
 - ・ アラームを設定します。
 - ・ 音量を調節します。
- ⑨ **INFO**
 - ・ 時間を表示します
- ⑩ **SCAN**
 - ・ ラジオ局を自動で合わせる時に使用します。
- ⑪ **ワイヤレス充電パッド**



3 本体の準備

本章の指示には、必ず順番に従ってください。

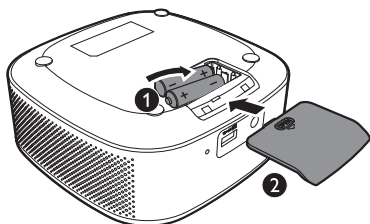
電池を入れる

電池でバックアップできるのは、時計とアラームの設定のみです。

注意

- ・ 破裂防止のために、電池を熱源、直射日光、裸火に近づけない。電池を火の中に捨てない。
- ・ 電池には化学物質が含まれていますので、適切に廃棄する。
- ・ アルカリ電池とカーボン亜鉛など、電池の種類を混ぜて使用しない。同じ種類の電池をセットにして使用する。

図のように、単4形電池2本（別売）を、「+」を正しい向きで入れます。



コンセントにつなげる

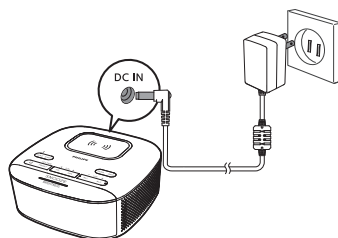
注意

- ・ 製品破損を防止するため、電源電圧がクロックラジオの背面または下面に印刷されている電圧と一致していることを確認します。
- ・ 感電防止のため、コンセントから抜く時は、電源プラグを持って引き抜いてください。絶対に電源コードを引っ張らないでください。
- ・ AC電源アダプタは、メーカー指定のもの、または本製品に付属のものを使用してください。

注釈

- ・ タイププレートは、クロックラジオの底部にあります。

ご家庭のコンセントに電源アダプタを差し込みます。



時間を設定する

注釈

- ・ 時刻の設定は、スタンバイモードでのみ可能です。

- 1 スタンバイモードで、**SET TIME**を2秒以上長押しします。
- 2 ◀**TUN**▶を押して、<24 HR>または<12 HR>の時間形式を選択し、**SET TIME**を押して確定します。
- 3 **HR**を押して時間を、**MIN**を押して分を設定し、**SET TIME**を押して確定します。
- 4 ◀**TUN**▶を押して、日、月、年 [DD-MM-YY]を設定し、**SET TIME**を押して確定します。
↳ [SAVED] と表示され、時刻が設定されます。

電源を入れる

- 1 ⏻を押して、クロックラジオをオンにします。
↳ 本製品は最後に選択されたソースに切り替わります。
- 2 もう一度 ⏻を押して、スタンバイモードに切り替えます。
↳ リアルタイムクロックが表示されます。

注釈


- ・ 本製品は、15分以上使用しないとスタンバイモードになります。

4 FMラジオを聴く

注釈

- ・ クロックラジオは、電磁波を発する他の電子機器から、なるべく離してお使いください。
- ・ 受信状態を最良にするために、FMアンテナを完全に伸ばし、位置を調節してください。

FMラジオ局の周波数を合わせる

- 1  を押して、クロックラジオをオンにします。
- 2 **SOURCE** を繰り返し押して、FMラジオを選びます。
 - ↳ **[FM]** が2秒間表示され、FMアイコンが点灯します。
 - ↳ 最後にチューニングされた局に周波数が合います。
- 3 **◀TUN▶** を2秒以上長押しします。
 - ↳ クロックラジオは、電波の強いラジオ局に自動的に周波数を合わせます。
- 4 手順3を繰り返し、他のラジオ局の周波数を合わせるができます。

自動でラジオ局を設定する：

FMチューナーモードで、**◀TUN▶** を繰り返し押しして周波数を選択します。

自動でFMラジオ局を設定する

FMチューナーモードで、**SCAN** を2秒以上長押しします。

- ↳ 本製品は、利用可能なすべてのFMラジオ局を自動的に保存し、最初の局を放送します。

注釈

- ・ 最大20のFMラジオ局を設定することができます。

手動でFMラジオ局を設定する

- 1 FMチューナーモードで、FMラジオ局に合わせます。
- 2 **PRESET** を2秒以上長押しすると、プログラミングモードになります。
 - ↳ 設定した番号が点滅し始めます。
- 3 **◀TUN▶** を繰り返し押して、番号を選びます。
- 4 もう一度**PRESET** を押して確定します。
手順1~4を繰り返し、他のFMラジオ局を保存します。

ヒント

- ・ プログラムしたラジオ局を削除するには、そこに他のラジオ局を設定します。

設定したラジオ局を受信する

オプションA：

FMチューナーモードで、**PRESET** を繰り返し押しして設定した番号を選択します。

オプションB：


- 1 FMチューナーモードで、**PRESET** を押します。
- 2 **◀TUN▶** を押して、設定したラジオ局を選択します。

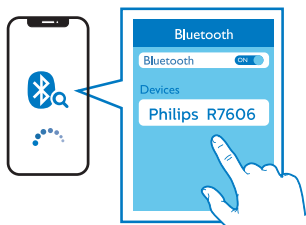
5 Bluetooth



注釈

- ・ 本製品とBluetooth対応機器の有効な動作範囲は、約10m (33フィート)です。
- ・ 本製品とBluetooth対応機器の間に障害物があると、動作範囲が狭くなります。

Bluetooth対応機器から再生する

- 1 **SOURCE**を繰り返し押しして、Bluetoothモードを選びます。
↳ **[BT]**とが点滅します。
- 2 お使いの機器に「**Philips R7606**」が表示されたら、それを選択するとペアリングと接続が始まります。必要に応じて、デフォルトのパスワード「0000」を入力します。



- ↳ 「**Philips R7606**」の検索に失敗したり、本製品とペアリングできない場合は、を2秒以上長押しして、ペアリングモードにします。
 - ↳ 接続に成功すると、**[BT]**とが点灯し、ペアリング音が鳴ります。
- 3 接続する機器のオーディオを再生する。
↳ Bluetooth対応機器から本製品にオーディオが流れます。

機器のBluetoothをオフにして、Bluetooth対応機器の接続を解除します。

6 その他の特徴

アラームタイムを設定する

アラームを設定する

注釈

- ・ アラームの設定は、スタンバイモードでのみ可能です。
- ・ 時刻が正しく設定されていることを確認してください。

- 1 スタンバイモードで、**AL1**または**AL2**を2秒以上長押しして、アラームタイムを設定します。
- 2 **HR**を押して時間を、**MIN**を押して分を設定し、**AL1**または**AL2**を押して確定します。
- 3 **◀TUN▶**を押してアラームの種類（毎日、1回、平日、週末）を選択し、**AL1**または**AL2**を押して確定します。
- 4 **◀TUN▶**を押してアラーム音源（BT、FM、またはブザー）を設定し、**AL1**または**AL2**を押して確定します。
- 5 **◀TUN▶**を押して音量レベルを設定し、**AL1**または**AL2**を押して確定します。

ヒント

- ・ 15秒間アイドル状態が続くと、アラーム設定モードが終了します。

アラームタイマーの起動、停止

- AL1**または**AL2**を繰り返し押しして、アラームタイマーを起動または停止します。
- ↳ アラームタイマーが起動すると、アラームランプがつかめます。
 - ↳ アラームタイマーが停止すると、アラームランプが消えます。
 - ↳ アラームは、次の日も繰り返し鳴ります。
 - ↳ 対応する**AL1**または**AL2**を押して、アラームを停止します。

アラームの繰り返し

アラームが鳴ったら、**SNOOZE**を押します。

- ↳ アラームはスヌーズして、9分後に繰り返しされます。

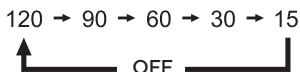
スリープタイマーを設定する

このクロックラジオは、プログラムした時間が経過すると、自動的にスタンバイモードに移行します。

- ・ **SLEEP**を繰り返し押しして、期間（分）を選択します。
 - ↳ プログラムした時間が経過すると、自動的にスタンバイモードに移行するクロックラジオです。

スリープタイマーを停止する：

- ・ **SLEEP**を繰り返し押しして、「OFF」（オフ）を表示します。



音量の調節

聴きながら **-VOL+** を押しして、音量を調節します。

ディスプレイの明るさを切り替える

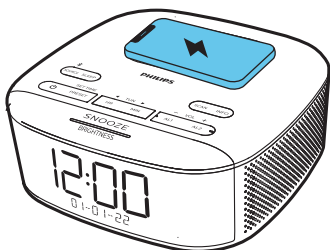
BRIGHTNESSを繰り返し押しして、明るさの段階を選択します：

- ・ 高
- ・ 中
- ・ 低

スマートフォンをワイヤレス充電する

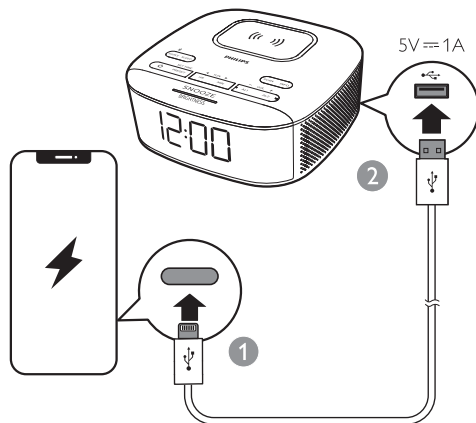
スマートフォンをワイヤレス充電パッドに置くと、ワイヤレス充電が開始されます。

- ↳ ⚡が表示されます。
- ↳ 異物が検知された場合は、⚡が点滅します。



USBポートから充電する

本製品の背面にあるUSBポートから、外部USB機器を充電します。



7 仕様

注釈

- ・ 製品情報は予告なく変更されることがあります。

アンプ

定格出力電力 2W x 2 RMS

チューナー (FM)

調整範囲 76 ~ 108MHz

調整用グリッド 100 KHz

感度

- モノラル、26dB S/N比 <22 dBf

全高調波ひずみ <3%

SNR >50 dBA

Bluetooth

Bluetoothバージョン V5.0

Bluetooth周波数 2.402GHz-
2.480 GHz

一般注意事項

AC電源
(電源アダプタ)

商標：Philips
モデル：AS340-090
-AA280
インプット: 100-240V ~
50/60 Hz; 1.2A
アウトプット: 9V ≐ 2.8A
25.2W

ワイヤレス充電 サムスンの急速充電
9Wに対応

USB充電出力 5V ≐ 1.0A

操作時消費電力 <17.1 W

待機時消費電力 <1 W

サイズ
(W x H x D) 153 x 68 x 153 mm

質量 (本体) 621 g

8 故障かな？と思ったら



警告

- ・ 本製品の筐体は絶対に外さないでください。

保証を有効にするために、ご自身での修理は絶対にしないでください。本製品の使用中に問題が発生した場合は、以下の点を確認の上、修理をご依頼ください。それでも問題が解決しない場合は、www.philips.com/support にアクセスしてください。Philipsに連絡する際は、本製品を近くに置き、モデル番号およびシリアル番号を確認してください。

電源が入らない

- ・ 本製品のAC電源プラグがきちんと差し込まれていることを、確認してください。
- ・ コンセントが通電しているか確認してください。

音が聞こえない

- ・ 音量を調節します。

本体からの反応がない

- ・ 電源プラグを抜き、再度差し込んで本体の電源を入れなおしてください。

ラジオの受信感度が悪い

- ・ クロックラジオは、電磁波を発する他の電子機器から、なるべく離してお使いください。
- ・ アンテナを完全に伸ばし、位置を調節してください。

アラームが作動しない

- ・ 時刻やアラームを正しく設定してください。

時刻やアラームの設定が消えた

- ・ 電源が切断されているか、電源プラグが抜けています。
- ・ 時刻やアラームをリセットします。
- ・ 新しい電池に取り替えてください。

Bluetooth接続時の音質が悪い

- ・ Bluetoothの受信状態が悪いです。Bluetooth対応機器を本体に近づけるか、本体との間の障害物を取り除いてください。
- ・ お使いの端末で、Bluetooth機能が有効になっていません。Bluetoothを有効にする方法は、お使いの機器の取扱説明書をお読みください。
- ・ 本体が、他のBluetooth対応機器と接続されています。接続を解除して、再度お試しください。



2021 © MMD Hong Kong Holding Limited. 著作権所有。仕様は予告なく変更されることがあります。PhilipsおよびPhilips Shield Emblemは、Koninklijke Philips N.V.の登録商標であり、ライセンスに基づいて使用されます。本製品は、MMD Hong Kong Holding Limitedまたはその関連会社の責任の下に製造および販売されており、MMD Hong Kong Holding Limitedが本製品に関する保証を担当します。

